

大学生を持つ主婦の接着芯地の使用状況

本郷美枝 潮田美智子

(昭和55年9月30日受理)

On Degrees of Using the Adhesive Interlining by Housewives having University Students (Part 4)

Miye HONGO and Michiko SHIOTA

(Received September 30, 1980)

緒 言

我々は、接着芯地について昭和45年度から、家庭の主婦がどのように接着芯地を理解し扱っているかなどについて調査を行い、その結果を、中学校の生徒を持つ家庭の主婦の接着芯地の使用状況について¹⁾、高等学校の生徒を持つ家庭の主婦の接着芯地の使用状況について²⁾、幼稚園の園児を持つ主婦の接着芯地の使用状況について³⁾、として報告して来たが、本報では、大学生を持つ主婦の接着芯地の使用状況について報告し、学生の接着芯地の使用状況について⁴⁾、の調査結果の一部と比較する。

更に、今後それぞれ10年後の調査結果と比較し、どのような変化、発展があったかを検討してみたいと考えている。なお、今後も引続き実験および部分的な応用などについて、研究、考察を行うものである。

調査方法

1. 調査時期：昭和47年1月
2. 調査対象：大学生の家庭の主婦の接着芯地の使用状況についての調査対象は、東京都の私立大学生の家庭の主婦である。
3. 実施方法：私立大学生の内、東京都の城北地域および埼玉県の一部に住む学生を選び、その家庭の主婦に調査用紙を配布、回答を求めた。なお、この調査用紙は、家庭洋裁についての種々の設問のあとに、接着芯地について説明し、設問、回答を求めたものである。
4. 調査項目：次の項目について調査を行った。

接着芯地についての基礎研究(第4報)
被服構成学実験研究室

- a. 主婦の年齢について
 - b. 主婦の最終学歴について
 - c. 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について
 - d. 接着芯地に関する知識の有無について
 - e. 接着芯地を使用したことの有無について
 - f. 接着芯地を使用したことのある主婦については、各種洋服のどの部分に使用したかについて
 - g. 接着芯地を使用したことのある主婦については、使用した接着芯地の種類と品名の認識について
 - h. 接着芯地を知っていて使用しなかった主婦の理由について
 - i. 主婦の接着芯地についての感想
5. 回収率：配布総数 628, 回収数 417 で平均回収率は 66.4%であった。

調査結果および考察

a. 主婦の年齢について

主婦の年齢については表1に示す通りである。大学の学生を持つ家庭の主婦の年齢は、39歳~63歳であり、平均年齢は47.7歳である。30歳代は3人、0.7%、40歳代285人68.2%、50歳代109人26.3%、60歳代8人1.9%、無回答は12人2.9%である。

先きに報告した中学校の生徒を持つ主婦の場合の年齢範囲は、32歳~58歳、平均年齢41.3歳で、30歳代35.2%、40歳代58.5%、50歳代4.4%であり、高等学校の生徒を持つ主婦の場合には、34歳~58歳の年齢範囲で平均年齢は44.1%、30歳代が8.7%、40歳代79.4%、50歳代9.3%である。又幼稚園児を持つ主婦の年齢は25歳~47歳であり、平均年齢33.1歳、20歳代が17.2%、30歳代75.1%、40歳

表 1 主婦の年齢について

年 齢 (歳)	大 学		短 大		合 計	
	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)
39	0	0	3	0.7	3	0.7
40	1	0.2	7	1.7	8	1.9
41	3	0.7	7	1.7	10	2.4
42	2	0.5	12	2.9	14	3.4
43	16	3.8	18	4.3	34	8.1
44	9	2.2	28	6.7	37	8.9
45	7	1.7	29	6.9	36	8.6
46	9	2.2	27	6.4	36	8.6
47	10	2.4	25	5.9	35	8.3
48	23	5.5	23	5.5	46	11.0
49	7	1.7	22	5.3	29	7.0
50	5	1.2	18	4.3	23	5.5
51	9	2.2	12	2.9	21	5.1
52	7	1.7	10	2.4	17	4.1
53	4	1.0	13	3.1	17	4.1
54	3	0.7	7	1.7	10	2.4
55	1	0.2	2	0.5	3	0.7
56	1	0.2	4	1.0	5	1.2
57	3	0.7	2	0.5	5	1.2
58	4	1.0	2	0.5	6	1.5
59	0	0	2	0.5	2	0.5
60	2	0.5	3	0.7	5	1.2
61	2	0.5	0	0	2	0.5
62	—	—	—	—	—	—
63	1	0.2	0	0	1	0.2
無 回 答	3	0.7	9	2.2	12	2.9

大学生を持つ主婦の接着芯地の使用状況

表 2 主婦の最終学歴について

	大 学		短 大		合 計	
	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)
尋 常 小 学 校 卒	5	1.2	10	2.4	15	3.6
高 等 小 学 校 卒	18	4.4	69	16.5	87	20.9
新 制 中 学 校 卒	1	0.2	5	1.2	6	1.4
高 等 学 校 卒	1	0.2	8	2.0	9	2.2
旧 制 高 等 女 学 校 卒	75	18.0	146	35.0	221	53.0
専 門 学 校 卒	22	5.3	29	6.9	51	12.2
短 期 大 学 卒	1	0.2	4	1.0	5	1.2
大 学 卒	3	0.7	3	0.7	6	1.4
そ の 他	3	0.7	2	0.5	5	1.2
無 回 答	3	0.7	9	2.2	12	2.9

表 3 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について

	大 学		短 大		合 計	
	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)
受 け た	65	15.6	128	30.7	193	46.3
受 け な か っ た	59	14.2	134	32.1	193	46.3
無 回 答	8	1.9	23	5.5	31	7.4

表 4 接着芯地に関する知識の有無について

	大 学		短 大		合 計	
	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)
知 っ て い る	76	18.2	184	44.1	260	62.3
知 ら な い	51	12.2	87	20.9	138	33.1
無 回 答	5	1.2	14	3.4	19	4.6

表 5 接地芯地を使用したことの有無について

	大 学		短 大		合 計	
	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)	実数(人)	平均(%)
あ る	38	14.6	75	28.9	113	43.5
な い	36	13.8	100	38.5	136	52.3
無 回 答	2	0.8	9	3.4	11	4.2

表 6 接着芯地を使用したことのある主婦については、
各種洋服のどの部分に使用したかについて

	接着芯地を使用した主な部分	大 学		短 大		合 計	
		実 数 (人)	平 均 (%)	実 数 (人)	平 均 (%)	実 数 (人)	平 均 (%)
ス カ ー ト	ウエストの見返し, ベルト, ヨークなど	23	8.0	54	18.6	77	26.6
ブ ラ ウ ス	えり, 前立て, 見返 しなど	16	5.6	36	12.4	52	18.0
ワンピース ・ドレス	えり, 前立て, そで 口など	20	6.9	20	6.9	40	13.8
ス ー ツ	えり, 前身ごろ, 見 返し, そで口など	28	9.6	26	9.0	54	18.6
コ ー ト	えり, 前身ごろ, 見 返し, そで口など	23	8.0	21	7.2	44	15.2
子 供 服	えり, ポケット, そ で口など	6	2.0	8	2.8	14	4.8
そ の 他	綿テープ, カーテン, パンタロンの見返し など	3	1.0	3	1.0	6	2.0
無 回 答	—————	2	0.7	1	0.3	3	1.0

(頻数による)

表 7 接着芯地を使用したことのある主婦については、使用した
接着芯地の種類と品名の認識について

		大 学		短 大		合 計	
		実 数 (人)	平 均 (%)	実 数 (人)	平 均 (%)	実 数 (人)	平 均 (%)
わ か る	不 織 布	13	11.2	23	19.8	59	50.9
	織 布	3	2.6	6	5.2		
	無 回 答	6	5.2	8	6.9		
わ か ら な い		15	12.9	34	29.3	49	42.2
無 回 答		3	2.6	5	4.3	8	6.9

(頻数による)

代6.1%となっている。大学生を持つ主婦は、40歳代と50歳代を加えると94.5%となり、他の主婦と比較すると、圧倒的に年齢が高い。

b. 主婦の最終学歴について

主婦の最終学歴については、表2に示す通りである。旧制高等女学校が半数以上の53.0%を占めている。

c. 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について

主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育については、受けたと回答した主婦193人、46.3%、受けなかったと回答した主婦は193人、46.3%、無回答31人、7.4%である。これは、表3に示す通りである。

d. 接着芯地に関する知識の有無について

接着芯地に関する知識の有無については、417人の主婦の結果で、表4に示す通りである。接着芯地を知っていると答えた主婦は、260人、62.3%、知らないと答えた主婦は138人、33.1%、無回答19人、4.6%である。

昭和45年度、昭和46年度入学の大学生に調査を行った際には、全員が知っていると回答していたが、主婦の場合約1/3が知らないと回答している。

e. 接着芯地を使用したことの有無について

接着芯地を使用したことの有無については、前項のd. 接着芯地に関する知識の有無についての設問で、知っていると答えた主婦260人、62.3%の結果で、表5に示す通りである。学生が接着芯地を使用したことの有無については、昭和45年度入学生で11.7%、昭和46年度入学生では81.6%であった。中学生を持つ家庭の主婦の場合は使用したことがあると答えた主婦は40.8%、使用したことが無いと回答した主婦は52.4%、無回答6.8%である。高校生を持つ家庭の主婦の場合は、使用したことがある主婦44.7%、使用したことが無いと回答した主婦50.2%、無回答5.1%、又幼稚園児を持つ主婦の場合は、使用したことがある44.9%、使用したことが無い50.0%。無回答5.1%であり、いずれも主婦の場合は同じような傾向で大きな差は見られなかったが、学生との差は大である。

f. 接着芯地を使用したことのある主婦については、各種洋服のどの部分に使用したかについて

接着芯地を使用したことのある主婦については、各種洋服のどの部分に使用したか、の結果について表6に示した。これは接着芯地を使用したことのある主婦113人43.5%を対象にしたものである。

接着芯地を扱った洋服についてみると、スカートの場

合が最も多く26.6%、次がスーツ18.6%、ブラウス18.0%、コート15.2%、ワンピース・ドレスに13.8%などである。各種洋服の部分で見ると、スカートでは、ウェストに10.0%と最も多く使用しており、スーツ、ブラウス、コート、ワンピース・ドレス、子供服は、いずれもえり・えりぐりに使用している。スーツのえりに5.6%、ブラウスのえり7.6%、コートのえり4.9%、ワンピース・ドレスのえり4.6%、子供服のえり・えりぐりに2.1%などである。

学生の場合には、スカートでは主に、綿テープとして明きの部分に、又ヨーク、見返し、ベルトなどに、ブラウスではえり、前立て、カフス、スーツにはポケットのふたなどに使用されている。

g. 接着芯地を使用したことのある主婦については、使用した接着芯地の種類と品名の認識について

接着芯地を使用したことのある主婦については、使用した接着芯地の種類と品名の認識についての結果を表7で示した。これは接着芯地を使用したことのある主婦、113人、43.5%を対象にしたものである。

わかると答えた主婦は、59人、50.9%、わからないと答えた主婦は49人42.2%、無回答8人6.9%である。

わかると答えた主婦の内、更に使用した接着芯地が、不織布接着芯地か、織布接着芯地かについては、不織布接着芯地と回答した主婦は31.0%、織布接着芯地と回答した主婦は7.8%である。又織布接着芯地と、不織布接着芯地の両方を使用している主婦は全体の2.6%と少数である。

h. 接着芯地を知っていて使用しなかった主婦の理由について

接着芯地を知っていて使用しなかった主婦の理由については、接着芯地を知っていて使用しなかった主婦136人、52.3%の結果である。

「むずかしそうだから」が4.3%、「購入しづらい」が3.6%、「使い方がわからない」15.8%、「心配である」13.7%、無回答22.3%、その他が40.3%となっている。その他の%が高いが、その内訳を見ると、「芯地を使うものは作らない」、「洋裁をしないから」という回答が多い。「洋裁が出来ないから」又「今までの芯を沢山買ってあるので」という回答も見られた。

i. 主婦の接着芯地についての感想

主婦の接着芯地についての感想は、次のような回答であった。「便利」、「簡単」という感想が圧倒的に多く、

「子供が使用したのを見て感心した」、「ずいぶん便利な物が出来たと思う」、「今後使ってみたいと思う」と前向きな意見もあれば、「洗濯の時に毛羽立つ不安がある」、「クリーニングに出す時心配」、「使用方法を知らないと失敗する」、なかには、「接着芯地がしっかりつかない」、「接着芯地は日が経つと接着しにくい」、「不馴れで使いづらい」、「時代の差というか、私にはピンとこない」、「使用したことがないから嫌い」、「今までの芯地の方がよい」という意見も見られた。

要 約

以上の調査結果からみると、大学生を持つ家庭の主婦の接着芯地の使用状況について、接着芯地を知っている主婦は62.3%であったが、知っていながら使用しない主婦は52.3%、無回答4.2%であり、あわせて56.5%と半数を上回っている。

使用している主婦についてみても、日常着の洋服の中でも、ほんの一部分にしか使用されていない。新しい物を、新しい部分に使用してみようとするには、そのものに対する不馴れ、憶惑さ、今までの物への馴れ、愛着があるのであろうか？ 中には、便利で簡単そうだし使えるものなら使ってみたいと積極性を示しているが、幼稚園児を持つ主婦の若い世代とは、意見が大分異なるようである。子供が使用しているのを感じて見たり、興味を示す主婦もあるようなので、学生を通じ、身近な小さな物から使用の方法を会得して欲しいものである。

又例えば自分では使用しなくても、どのようなところにどのように使用されているものなのか、どう接着されているのが良い物か悪い物かの見分け方も知ってほしい。時代の差などを感じずに、家の中にばかりおらず、大いに見聞を広めてほしいものである。これから家庭の主婦の立場になるであろう学生達には、能率性、合理化などを考えて、幅広く応用することを研究して行ってほしいし、その物にとり組もうとする積極性を養えるよう配慮したいものである。

この研究は今後、調査結果をもとにして、接着芯地の実験および部分的な応用などについて、研究考察をしてゆきたいと考えている。

おわりにあたり、この調査にご協力をいただきました、主婦の方々ならびに学生の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

文 献

- 1) 本郷美枝, 潮田美智子, 森静香: 衣生活 **14**, 10 (1971)
- 2) 本郷美枝, 潮田美智子, 森静香: 東京家政大学研究紀要, **12**, 95 (1973)
- 3) 本郷美枝, 潮田美智子: 東京家政大学研究紀要, **20**, 71 (1980)
- 4) 本郷美枝, 潮田美智子, 高山瑞栄: 東京家政大学研究紀要, **14**, 29 (1974)